

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	若葉保育園
日時	令和7年11月13日

1. 活動テーマ

<テーマ>

0歳児…葉っぱにふれてみよう

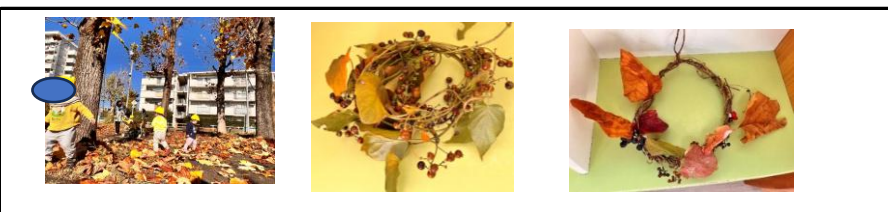
<テーマ設定理由>

・園庭や花壇で落ち葉を見つけて眺めたり、葉っぱに触れて葉への興味が出てきた。葉の色づきが見られてきたので散歩に出かけ、色づいた葉や落ち葉を見て何を感じるのかみていった。

2. 活動スケジュール

- ・園庭で、戸外遊び中に葉を見つけて触れる。
- ・散歩に出かけて、落ち葉を見つける。
- ・夕方、つるを輪にして、木の枝で葉っぱのリースを作る。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定



4. 探究活動の実践

<活動内容>

- ・歩いている時に、自然に目を向けられるように周囲の景色や草葉があることに言葉をかける。
- ・道路に葉が落ちているのを知らせ、落ち葉を踏んだらどうなるのか問いかけながら、保育士と一緒に落ち葉を踏んで見せる。
- ・葉の大きさの違いを感じられるようにいろいろな葉を見せる。
- ・落ち葉を上に向けて落ちてくる様子を見せる。
- ・木の枝でリースを作り葉を付けて見せたり、一緒に葉をつけたりする。
- ・持ち帰った落ち葉を観察したりや触れられるようにする。

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関り>



- ・園庭に出ると、葉っぱに目を向け、両手で引っ張り、表面の凹凸を感じている様子。
- ・赤い葉を手に取り、葉をじっくりと見ている。プランターの上で両手で引っ張ってちぎる。「お布団になったね」と保育士が声をかけると、また同じ葉を見つけて同じところでちぎることをくり返していた。
- ・散歩に出かけ、足元の落ち葉に目を向けた。保育士が、隣で落ち葉を足で踏んで見せると、真似して、足をあげて踏み、繰り返すことで楽しくなり、微笑んで足の動きも多くなる。
- ・落ち葉の中へ歩いて入り、微笑んでいる。落ち葉がすり合う音に気が付き、保育士の顔を見る。「何か聞こえたね」と言うと「ふふ」と声を発して喜ぶ。
- ・歩きながら地面を見て、気に入った葉の形や大きさを選んで見られた。見つけると、保育士のところに持ってきて、葉で顔を隠す。保育士が「いないいないばあ」と言葉を添えると、顔をみせて喜ぶ。
- ・風が吹いたことを感じ、周囲を見回し、上を見上げて、葉が落ちてくる様子を見る。
- ・持ち帰ったつるを輪にすると、葉を持ってきて、のせようとするが、輪の中に落ちる。くり返すことで、葉が落ちることが楽しくなり笑っていた。

前回は、色づき始めの葉に触れ、今回は、色づいた赤や黄色の葉に触れた。葉の色づきや大きさ、落ち葉に触れてどう感じるのか子どもの表情や仕草から汲み取れるように様子を見ながら関わる。子どもから葉に目を向けるようになってきた。真剣に一枚の葉をしっかりと持ってじっくりと見るようになり、言葉もむやみにかけない方が良く感じた。子どもが保育士の顔を見るときが、本人にとって満足したときと感じ側で待つようにした。自分で動いて落ち葉を踏んで歩いたり、落ち葉一面の上を這い這いで動き葉を楽しむ姿も見られた。今までのすくわくの中で、大人の言葉かけを少なくすることを意識してきたが、今回の活動で、そばで様子をしっかりと見ること、子どもの視線や動きで子どもが探求していると感じました。風が吹くと空を見上げる姿が見られ、体で感じるようになっていたと思った。春から葉に触れているが、子どもから動き出す姿が見られ探索が広がってきていると感じる。今後も葉にたくさん触れて子どもの感じたことを言葉にして共感し、「やってみたい」気持ちを育めるように関わっていきたいと思う。

0